



「じゃがいものうち」通信

NO.66 2010.9.27

～ 障害者と共に生きる仲間たち～

NPO法人「じゃがいものうち」

〒891-4404 鹿児島県熊毛郡屋久島町尾之間136-6

Tel./Fax/0997-47-3588 E-mail/npo-jaga@po.minc.ne.jp

URL:<http://www.minc.ne.jp/npo-jaga> 代表 楯篤雄



「よかたん豆腐店で働く岡留千賀子さん」

自助、共助、公助

子供から高齢者まで住民の誰もが住み慣れた地域の中で、心豊かに安心してくらすような仕組みをつくり、それを持続させていく為に、自助（住民一人ひとりの努力）、共助（住民同士の相互扶助）、公助（公的な制度）の連携によって解決していこうとする取り組みが必要です。

障害者の自立と社会参加を求め、平成12年「じゃがいものうち」建設と同時に喫茶をオープンしました。日替わりで障害を持つ人が喫茶で働けるように、また地域の方との交流を通して障害者への理解を深めるためです。それは現在も続けています。

喫茶発足当時、屋久島で障害者が働ける場はここだけでした。喫茶にくるお客さんも少ないのですが、それでもエプロン姿の彼らを見るのは誇らしいものです。また「じゃがいものうち」のメンバーと「手をつなぐ育成会」の仲間たちと始めた「水曜活動」（毎週水曜日に集まり作業をする）は農作業をベースに収穫物の販売、加工食品の製造販売も早5年目になります。小麦を植え、小麦粉に製粉してうどんを打つ。そのうどんをお祭りの出店で販売します。初めての販売は3年前のこと、栗生集落の「あらんばら一市」に出店させて頂きました。栗生集落の方々から暖かい応援の声を頂いたことを思い出します。

そして今、それらの地道な活動を足がかりに、それぞれの障害者団体が一つになり、屋久島の障害者福祉の向上を実現しようと「屋久島町障害者福祉連合会」の動きにつながってきました。それぞれの団体の持つニーズを出し合いながら、行政も社会福祉協議会も参画し、共に島全体の動きとしてひとつひとつ確実に実現したいものです。（楯 篤雄）

7月で3年目を迎えました

厳しかった残暑も利用者の皆様と乗りきり、『みんなのおうち』も開所から3年を無事に迎えることが出来ました。少人数のミニデイならではの特性を活かし、気持ちも新たに利用者の皆様と共に歩んで参りたいと思います。

スタッフ研修

8月6日 デイサービス内にて、日向みさこ氏(居宅介護支援事業所・訪問介護事業所管理者)を講師としてお招きし介護支援事業所の運営に関して研修を実施しました。

日向氏は看護師としてスタートの後、医療だけでは支え切れない介護の仕事に携わることを決意して鹿児島市内で上記の事業所を開設されました。笑顔で利用者さんやスタッフと語り、自分を厳しく見つめ、苦しいときには“なぜこの仕事に携わったのかという原点に立ち返る事”とおっしゃる姿勢に感服。その言葉のひとつひとつから介護の仕事の奥深さと勇気を与えて下さいました。



実習を終えて

8月9日から9月9日まで、社会福祉士の受験資格取得のために屋久島町社会福祉協議会「縄文の苑」で実習をさせていただきました。



高齢者分野については、この社会福祉協議会の実習で多くのことを体験させていただきました。児童分野は児童デイサービス「縄文」で、そして障害者分野は「みんなのおうち」で、それぞれ1日体験の実習をさせていただきました。

この「みんなのおうち」での実習では、利用者の方々とお話をしたり、トランプや五目並べをしたりして楽しんだり、職員の方々と一緒に昼食作りをしました。

アットホームな空間で一人ひとりの利用者さんと密にコミュニケーションがとれるミニデイサービスでの実習は、私にとってとても新鮮なものとなりました。

今回の実習で、改めて障害児・者の方々と触れ合うこと、そして利用者一人ひとりと密にコミュニケーションがとれる施設で働くことが自分に一番向いているのではないのかと思いました。

実習で得た経験をもとに、将来の夢に向かって一步一步がんばっていきたいと思います。

利用者の皆さん、職員の皆さん、ありがとうございました。

(鹿児島国際大学 福祉社会学部 社会福祉学科 3年 大山桜子)

黒くなってる?!

最近デイサービス内でまことしやかに流れている噂.....それは利用者さんの“黒髪化”です。まずは90歳を目前にしたKさんの左右の生え際が黒くなっていることが発覚! 次いでSさんの後頭部が、アレッ別の利用者さんも! と驚きの日々。気のせいではなく本当に毛根のそばから黒くなってきているんですよ。その反面、スタッフの“白髪化”が進んでいるのでは、との心ないお言葉も.....。さあ、真実やいかに。気になった方はどうぞ確かめにいらして下さいね。



タコ焼きプチ・パーティ

大好きなのはお肉とウナギとタコ焼き、とおっしゃる利用者Sさん。予算の関係から今回はタコ焼きプチ・パーティの開催となりました。関西出身の管理者の梶野さんが当然のように持っている“マイタコ焼き器”を持ち込み、当日の調理スタッフの由美さんが天かすから手作りするという気合いの入れ様。その結果が左の写真です。美味しかったうえにこの写真が大変気に入られたとのこと。よかったです。

少しずつですが、皆様の希望にそったプチ・イベントも行っていきたくと思います。

屋久島町**身体**障害者福祉連合会だより

障害者団体からの「要望」には、様々なものがあります。でも、共通していることは、学ぶ場や働く場、あるいは訓練の場などのような昼間の生活の場と、夜の生活の場についてです。それともう一つ、外出や家事の支援、身体などの介護の支援などもあります。

各障害者団体が、今どのような「要望」を持っているのか、言い方を変えれば、どのような支援が不足しているのか話し合いました。ここに、その一部についてお知らせします。

- ・屋久島町身体障害者福祉協議会；自立訓練のなかの機能訓練の場
- ・屋久島町手をつなぐ育成会；グループホーム及び生活訓練、生活介護等の日中活動の場
- ・屋久島精神障害者家族会；生活ホーム及び日中活動の場
- ・児童デイサービス縄文；養護学校の設置と地域活動支援センター（児童の移動等の支援）

このような「要望」を現実のものとするとともに、障害児・者にとって住みやすい「屋久島」を目指していきます。そのため、様々な制度の勉強会を計画しております。

より多くの方々のご理解とご協力をお願いします。

（大山正典）

訃報のお知らせ

屋久島町障害者福祉協議会の会長で、この連合会の立上げに積極的に参画して下さいました梅本龍治様が、薬石の効果なく、7月17日ご逝去なさいました。

故梅本様は、障害者福祉協議会の会長職と共に、屋久島における障害者福祉の今後につきましても、多くの思いを抱いていらっしゃいました。私たちは、故梅本様の志を重く捉え、これからの屋久島の障害者福祉に反映させて行きたいと思っております。

この場をお借りしまして、改めて梅本様のご冥福をお祈りいたします。

街かど情報コーナー 【もり・けんのハーモニカ】

8月27日（金）安房公民館にて、「もり・けん童謡コンサート」が行われました。

もり・けんさんは、『童謡は、情緒を育て優しい心を持つ人間の基をつくります。』

と、日本の心「童謡」の素晴らしさを伝えて行くため、日本全国を巡回講演しています。

屋久島は、五回目となりますが、今回は、「春が来た ふるさと こいのぼり 雨降り 七夕様 うみ われは海の子 虫の声 里の秋 紅葉 冬景色」等演奏されました。来年も来られますので、また素敵な音色を聴かせて頂きたいと思っております。



行事報告

尾之間温泉まつり 7月31日(土)

今年は、昨年の挽回！とばかり準備も気合いも十分に出店しました。

暑さのせいやお茶やジュースなどの飲み物、かき氷の売れ行きも順調！

勿論、人気のジャガコロは相変わらず長蛇の列となりました。休む間もないほどの忙しさ。出店に参加してくれました会員の皆様には、食事のままならない中で頑張ってもらい、有り難うございました。お陰様で、ジャガコロは早くに完売！かき氷も用意したカップが足らなくなるなど、どのコーナーもてんてこ舞いの忙しさでした。皆さん本当にお疲れさまでした。



おおぼらかい

- ・7月27日(火)茶話会(10名参加)

今回は参加者が少なかったですが、健康に関する体験談や地元の音頭、小唄等を皆さんで歌うなど、楽しい会となりました。



- ・8月24日(火)屋久杉自然館(15名参加)
久し振りに樹林の緑に涼を求め、屋久杉自然館まで出かけました。館内では、担当員の方のお話を聞きながら縄文杉の折れた枝の大きさにびっくり！

また、小杉谷集落の厳しくも古き良き時代のビデオを見て、当時の生活ぶりや懐かしい知人の若き姿を見つけて感激するなど、本当に楽しい一日となりました。(昼食の冷やしうどん等、美味しかったですね！)

お楽しみ感謝祭 8月29日(日)(33名参加)

今年は拠点開設10周年記念の感謝祭となりました。暑い中にもかかわらず多くの会員の方々が参加して下さいました。理事長の挨拶の後、昼食を頂きながらの歓談と余興など楽しいひとときを過ごしました。(詳細は『子持ちギャルのひとこ衆見聞録』をご覧ください。)

豚味噌作り 9月17日(金)AM9:00~PM4:30 麦生ぼたん館(19名参加)

今回は立教大学の福祉学科など様々な学科の学生さん6名と先生、朝日新聞社記者さんの合計8名より交流の申し入れがあり、「話しだけではなく一緒に働きませんか」と声かけしたら気持ちよくOKをいただきました。

「障害を持って島で生きてゆくのこの豚味噌作りは大変重要な作業である」と、熱く語りました。いつの日かこれをご縁に屋久島に永住してくれればとかすかな期待を持ちながら、恒例の全員でのお見送りをしました。豚味噌製造数806個、スタッフの腕も日に日に上達しています。

倉庫の片付け 7月18日(日)、町より借用の倉庫の片付けを、会員有志の協力を得て行いました。おかげさまですっきりときれいになり使いやすくなりました。

子持ちギャルの《ひとこま見聞録》

親にとっては長い長～い夏休みが終わり、我が家に再び平和が訪れた9月。全国的に暑い夏の様でしたが、今年の夏は屋久島も格別暑い！9月に入っても変わらず暑い！それでも夜になると、鈴虫の澄んだ歌声に季節の変化を感じるこの頃です。あの日も暑かった8月29日。「じゃがいものうち」お楽しみ記念感謝祭が開かれました。この感謝祭は、タンカンジュース作りに始まり、ウコン、ガジュツ、ジャガイモ等の農作業、豚味噌作り、夏祭りの出店などなど、日々の労をねぎらいましょうと催される行事です。今年は拠点開設10周年を迎え、「記念」がついた感謝祭となりました。



あの暑さにもかかわらず、エアコンが使用出来ずに熱中症が懸念されましたが、日々屋久島に鍛えられている私たちです！豪華なお弁当に感激し、差し入れの品々もうまいまいと次々とたいらげ、エネルギーの補給をしっかりと完了。そう！お楽しみはこれからです。感謝祭の目玉は一発芸大会。劇団とんちんかんによる、笑いとお歌のステージ。アカペラあり、カラオケあり、素敵なアコーディオンの演奏あり。「じゃがいものうち」には、エンターティナーがいっぱいです。もちろん見て楽しむだけでもOKですよ。だけど、きっとあなたもウズウズしてきちゃいますから。ドキドキの抽選会もありました。

みんなで歌って、踊って、笑って、おしゃべりして、これぞアンチエイジングです。今年は参加できなかった方々も来年は是非是非いらっしゃって下さいね。みんなで若返りましょう！（鈴木裕子）

追伸 「お仲間募集」

私事なのですが、「みんなで歌える叙情歌コンサート」の活動をまた始めようと思っています。ピアノやその他の楽器で伴奏を下さる方、活動に興味のある方は、ぜひ鈴木までご連絡を下さい。お待ちしております！ TEL 0997-47-2965 鈴木裕子まで

行事予定

おおぼらかい（毎月第4火曜日「みんなのうちに」）

じゃが芋植え付け 福祉交流会として安房小の生徒達も参加します。

日時 11月1日（月）10時（雨天順延）

場所 尾之間耕地整理記念碑の下の畑

持ち物 軍手、お弁当、飲み物、包丁、小さなバケツ

安房小との福祉交流 11～12月 「視覚障害者と安房小4年生の交流」

手をつなぐ育成会便り



9月は全国の「手をつなぐ育成会」が行う発達障害者の福祉月間となっております。8月16日、毎年恒例の「キャラバン広報」を行いました。一軒一軒訪ねてリーフレットを配り、障害者への理解を求める活動です。町福祉事務所の協力をもらい広報車にて町内全域を回ります。

毎年この時期は暑くて皆汗びっしょりです。そんな私達に「あついのにご苦労さん」とジュースやスイカをふるまって下さり、地域の人達との温かいふれ合いとお心くばりは活動の励みになります。

この活動は、町広報誌9月号に掲載され、多くの方々に目にして頂いたことと思います。（楯篤雄）

喫茶コーナー



喫茶の仕事をして早5年が過ぎ、地域の方々との交流も色々させて頂き、今の自分があるのも地域の方々や「じゃがいものうち」の皆さんのおかげと感謝させて頂いております。

毎日コーヒーを飲みに来て下さる方が来れないと、何かあったのではと、すごく心配になります。数年前の事です、診療所の帰りや仕事の帰りにコーヒーを飲みに来て下さった方や会員の方々との突然の悲しい別れが何度ありました。私がここで仕事をしていなければこんな別れはなかつたろうけど、この別れも又、自分にとって何か意味があるのだろうと思っております。

私は、お客様や色々な方々から優しい心や思いやり、喜び、悲しみ、有り難うの心と元気をいっぱい頂いているような気がします。一日一日を感謝の心で送る事が出来るよう心がけています。喫茶で仕事をさせて頂いて、本当に幸せだなあと感じています。

私は、木曜日（鹿島浩二さんと）と金曜日を担当しています。

何か飲みたくなったら、冷たい水やあったかいお茶、コーヒーを飲みに来て下さい。ひやかし、大歓迎です。

（畑下和子）

水、土曜日担当の吉村加代子さんが9月から産休に入りました。復帰は来年7月の予定です。その間加山恵美子さんが担当しています。よろしくお願ひします。

会員の更新、新規加入ありがとうございました

（9月26日現在 敬称略・順不同）

一般会員：木原裕子 柴鐵生 谷本憲保 脇田武志
山田圭一・由紀子 もり・けん 東尚子

賛助会員：日高チズ 三浦隆志

新会員のご紹介

よろしくお願ひします！

柴鐵生（永田）
谷本憲保（宮浦）
もり・けん（大阪府）
東尚子（奈良県）

感謝録

（6月27日～9月26日 敬称略・順不同）

いつもご支援、ご協力ありがとうございます。（じゃがいものうち、みんなのうちに）

峯島信行 須見洋子 渡辺まみよ 稲場輝雄 田中和彦 鈴木裕子 神崎彩子 日高ヨリ
渡辺一夫 梶野かおり 畑下和子 松本裕子 松本活栄 長瀬富美子 長瀬真弓 山田玲子
日高ゆかり 高田姫姫 大門聖子 山田由紀子 伊藤ミキ 日高チズ 萱島好子 松本三枝子
日高ユキ子 藤森誠 戸床頭 岩川ミヤ 木村香織 塚田哲夫 大原貞子 高山宏子
岩川美意子 飯田かおる 大垣裕美 笹川芳子

編集後記

今年の夏は暑くて長かったですね。9月も終わる頃ようやくホットしているところです。

今号より字を少し大きくしました。一見気付かないのですが、このごろ老眼鏡が離せなくなっている私にはとても嬉しい事です。

屋久島の障害者福祉も一つひとつ改善し、やがては理念のとおり
の屋久島が実現することを期待し、日々取り組みを深めてゆきたいと思
います。これからは「障害者が安心して過ごせる場」を支える『人』
が必要ですね。やる気のある方ご一報下さい。

（楯篤雄）

